

令和7年11月17日

徳島県にし阿波地域における保全計画に基づく活動状況等の評価
(令和7年度第6回世界農業遺産等専門家会議)

1 評価

貴地域では、地域の農業遺産の保全活動が概ね適切に行われていることが確認できたため、今後も引き続き活動を維持されたい。

2 専門家会議による助言事項

更なる保全・活用に向け、以下の助言事項を参考として今後の保全活動に取り組むことが望ましい。

- (1) 現在実施されている農泊や各種イベントの実施等による交流人口・関係人口の増加及び他地域や海外への情報発信について、継続的に取り組むことが望まれる。
- (2) 生物多様性やランドスケープの保全について、草地のみならず隣接する林地等を含めて全体の管理を図るとともに、自然共生サイトへの登録や、独自の取組である GIAHS ポイント（世界農業遺産を視覚的に理解できる象徴的な地点）の新たな設定を目指し、更なる付加価値の創出につなげていくことが望まれる。
- (3) 民間企業等の誘致等を通じて、新たに参入した企業等や新たな担い手農家と連携し、地域が抱える問題の解消やC S V（Creating Shared Value：共有価値の創造）との組み合わせの可能性など、新しいビジネスの展開を模索することが望まれる。
- (4) 地域内の教育関係者のための農業遺産やシステムへの理解を深める研修会やイベント等の機会を創出するとともに、グリーンツーリズムの実施等を通じて、地域内外の人々を巻き込みながら、にし阿波地域らしい新たな共有地（コモンズ）としての在り方を検討していくことが望まれる。
- (5) ふーどコンテスト（農林水産省主催）等を教育コンテンツとして、地元メディアとも連携しながら、当地域の食文化を発信し続けることが望まれる。
- (6) これまでに制作された地域の紹介映像のほか、記録や宣伝のための新たなコンテンツを継続的に制作することを期待する。

(以上)